

日本医史学雑誌 第56巻 総目次

原 著

- Historical Development of Modern Anatomy Education in Japan Tatsuo SAKAI 3
 京都大学整形外科学教室初代教授 松岡道治の事績, 業績
 ——第4報 医師および市民への講演活動—— 廣谷 速人 25
 昭和初期解剖学用語の改良と国語運動 澤井 直, 坂井 建雄 39
 イスラム医学における「非自然要素」 矢口 直英 53
 Eugenics, Environment, and Acclimatizing to Manchukuo:
 Psychiatric Studies of Japanese Colonists Janice MATSUMURA 329
 京都大学整形外科学教室初代教授 松岡道治の事績, 業績
 ——第5報 松岡教授の教室員と受け入れ内地留学生—— 廣谷 速人 351
 初期紅毛流外科と儒医向井元升について ヴォルフガング・ミヒェル 367
 小児鍼の起源について
 ——小児鍼師の誕生とその歴史的背景—— 長野 仁, 高岡 裕 387
 橋田邦彦における「医」の三要素 勝井 恵子 473
 下関開業時代における岡研介の事績及び寄寓背景に関する考察
 ——本州西端の海港に見る文政末蘭学医の展開—— 亀田 一邦 485
 渋江抽斎著『壺枢講義』所引「古抄本」について 永塚 憲治 501
 『千金方』傷寒門所引の華佗方にみられる原始的な傷寒の治方
 遠藤 次郎, 鈴木 達彦 513

研究ノート

- 近代ギリシャにおける『ヒポクラテス全集』の継承 菅野 幸子, 本田 克也 67
 岩手県金ヶ崎町(城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区)より
 輩出せる明治女医2名 福嶋 正和 415
 新出の平沢屏山のアイヌ種痘図に関する一考察
 ——オムスク造形美術館所蔵の「種痘図」を巡って—— 松木 明知 427
 橋田邦彦研究——ある「葬られた思想家」の生涯と思想—— 勝井 恵子 527

日本医史学会平成22年3月特別例会「大塚恭男先生をしのぶ会」

1. 戦後の日本漢方医学界の展望
 ——日本東洋医学会及び東亜医学協会を中心として—— 原 桃介 437
2. 大塚恭男先生の人と仕事 小曾戸 洋 441
3. 大塚恭男先生の思い出 岡田 靖雄 449

ひろば

- 医史学の伝統復活 薩摩琵琶 酒井 シヅ, 岡田 靖雄 77

資 料

長沢道寿『藪医問答』の解題と翻刻 …………… アレッサンドロ・ピアンキ, 町 泉寿郎	136
池田文書の研究 (37) ……………	池田文書研究会 79
池田文書の研究 (38) ……………	池田文書研究会 539

追 悼

大塚恭男先生を悼んで 医史学と先生 ……………	酒井 シヅ 89
矢部一郎先生を偲んで ……………	蔵方 宏昌 91

記 事

消 息

日本医史学会月例会について……………	酒井 シヅ, 岡田 靖雄 455
--------------------	------------------

例会記録……………	93, 456, 549
-----------	--------------

例会抄録

戦前の日本赤十字社看護人の救護活動 ……………	山崎 裕二 93
日本のワクチン受容史 ——ジェンナー博物館にて予防接種法を考える—— ……………	渡部 幹夫 95
日本在来馬と西洋馬 ——日欧獣医学交流史と関連して—— ……………	小佐々 学 96
母乳をめぐる自然概念の歴史の変遷……………	梶谷 真司 456
日本における金瘡治療の展開 ——白朝散を中心に—— ……………	森田 まゆ, 鈴木 達彦 458
『資料集 日本の精神障害者(戦前篇)』編集にむけて……………	岡田 靖雄 459
『断毒論』と『国字断毒論』, 『翻訳断毒論』の比較 ——漢方医学の立場から—— ……………	西巻 明彦 549

書籍紹介

中田雅博著『緒方洪庵——幕末の医と教え——』……………	芝 哲夫 98
石井拓男・渋谷鉦・西巻明彦著『スタンダード歯科医学史』……………	関根 透 99
石井拓男・渋谷鉦・西巻明彦著『スタンダード歯科医学史』……………	宮武 光吉 100
Gabor Lukacs: <i>KAITAI SHINSHO</i> The single most famous Japanese book on medicine & <i>GEKA SŌDEN</i> An early very important manuscript on surgery ……………	ヴォルフガング・ミヒエル 101
防衛ホーム新聞社編纂『彰古館——知られざる軍陣医学の軌跡——』 ……………	谷中 誠 103
篠田達明著『日本史有名人の臨終図鑑』……………	杉浦 守邦 461
海原亮著『近世医療の社会史 知識・技術・情報』……………	瀧澤 利行 462
泉孝英著『外地の医学校』……………	瀧澤 利行 464
ミュリエル・ラアリー著, 濱中淑彦監訳『中世の狂気 十一～十三世紀』 ……………	鈴木 晃仁 465

水谷惟紗久著『18世紀イギリスのデンティスト』……………	宮武 光吉	551
篠田達明著『日本史有名人の臨終図鑑2』……………	杉浦 守邦	552
小川浩司著『近代医学を切り拓いた人々』上巻・下巻……………	渡部 幹夫	554
梶谷光弘著『松江藩校の変遷と役割』……………	亀田 一邦	555
吉良枝郎著『明治期におけるドイツ医学の受容と普及 ——東京大学医学部外史——』……………	坂井 建雄	556
W・ミヒェル, 鳥井裕美子, 川島真人共編 『九州の蘭学——越境と交流——』……………	原 敬二郎	557
ルース・リチャードソン著, 矢野真千子訳 『グレイ解剖学の誕生——二人のヘンリーの1858年——』……………	坂井 建雄	559
医史学関係文献目録(平成20年, 2008年)……………	順天堂大学医史学研究室編	269
投稿規定……………		138, 323, 467, 561
編集後記……………		140, 325, 469, 563

第111回 日本医史学会総会 演題目次

会長講演

日韓越の医学と中国医書……………	真柳 誠	151
------------------	------	-----

特別講演

水戸藩の医学と医療……………	鈴木 暎一	160
----------------	-------	-----

一般演題

1 日露戦争期の広島予備病院における活動 ——日赤救護班の看護活動を中心として—— ……………	岡本 裕子, 坂村 八恵, 隅田 寛, 千田 武志	163
2 明治期の医師——近藤常次郎による看護管理体制の示唆—— ……………	上坂 良子	164
3 日本赤十字社における支部選出看護婦 ——京都支部選出看護婦 高木ハルの事例をもとに—— ……………	川原由佳里, 鷹野 朋美, 山崎 裕二, 殿城 友紀, 高橋 朋子, 川嶋みどり	165
4 明治24年濃尾地震における東京慈恵医院の救護・看護活動 ……………	平尾真智子, 芳賀佐和子, 蝦名 總子	166
5 日本陸軍における看護卒と磨工卒の関係……………	鈴木 紀子	167
6 満蒙開拓青少年義勇軍訓練生に対する医療と看護……………	額賀せつ子	168

7	プランゲ文庫所蔵新聞記事にみられるGHQ看護課長オルトの 記者会見の分析	大石 杉乃	169
8	戦後沖縄の保健・医療行政 ——その4 保健所の活動——	杉山 章子	170
9	韓国ジャーナルに載せられた補完代替医学関連研究の動向分析	李 太 亨, 金 南 一	171
10	近年の政治及び経済政策が我が国の医療に与えた影響	藤岡 彰, 藤岡 和美	172
11	心臓移植は医療として正しいか	藤倉 一郎	173
12	医学研究における被験者保護の流れ	関根 透, 島田 道子	174
13	超過死亡にみる戦前期日本(旧植民地を含む)における “スペインかぜ”世界流行の影響	逢見 憲一, 丸井 英二	175
14	日本の結核史における第二次世界大戦とBCG研究について	渡部 幹夫	176
15	戦後占領期における性感染症 ——GHQ/SCAP文書にみる梅毒の流行——	田中 誠二, 杉田 聡, 安藤 敬子, 丸井 英二	177
16	江戸時代の医学書にみる結核観の変遷	鈴木 則子	178
17	王室記録に見られる『東医宝鑑』関連記載の分析 ——正祖時代までの記録を中心として——	姜 棹 現, 車 雄 碩, 金 南 一	179
18	本草効能用語に関する研究	金 恩 瑕, 吳 龍 澤, 李 丙 旭	180
19	『東医宝鑑』湯液篇の本草分類に対する研究	吳 在 根, 金 容 辰	181
20	『郷薬集成方』から『東医宝鑑』にみられる朝鮮半島医学の変遷 ——本草を中心として——	朴 智 世	182
21	『大同類聚方(寮本・延喜本)』に見える古代朝鮮の国名と 関係のある薬方	後藤 志朗	183
22	「燕行使」「通信使」と明末清初における 東アジア医学知識の連動	陳 明	184
23	近代中国における西洋解剖学の初期的伝播について	松本 秀土, 坂井 建雄	185
24	宋大仁が三木栄にあてた1通の手紙で得た励まし	郭 秀 梅	186
25	『脾胃論』に記載された述語の分類に関する研究	李 丙 旭, 金 明 姫, 金 恩 瑕	187
26	李東垣の陰火論に対する研究	方 正 均	188
27	王清任の補気観——李東垣との比較から——	越智 秀一	189
28	江戸時代の考証学と折衷派に対する考察	殷 哲 玫	190
29	ベトナム近現代史における「伝統医学」	小田 なら	191

- 30 釈迦時代における出家僧の健康管理について…………… 杉田 暉道 192
- 31 治癒神としてのカナヤマサマ
——八丈島での事例から—— …………… 土谷 久 193
- 32 中山城山の『黄庭内景経略註』について…………… 坂出 祥伸 194
- 33 常陸の郷医・山田甫庵の事蹟
——《百腹図説》の成立と伝播に関する考察—— …………… 長野 仁 195
- 34 清代医案における外感病と内傷病の舌象特徴の研究
…………… 梁 嶸, 王 盛 花, 李 燕, 王 召 平,
侯 楊 方, 官 君 達, 李 方 玲 196
- 35 日本における舌診思想の一考察(その1) …………… 西巻 明彦 197
- 36 20世紀初期韓医学の診療録に見る傷寒診療例の考察 …………… 車 雄 碩 198
- 37 江戸期在村医の製売薬
——岡山県邑久郡中島家の関連文書の分析から—— …………… 梶谷 真司 199
- 38 安藤昌益学派の『真斎漫筆』にみる乱神病…………… 岡田 靖雄 200
- 39 奄美諸島の私宅監置と医介輔問題…………… 金川 英雄, 堀 みゆき 201
- 40 小林靖彦の資料研究
——ミクロの視点から見た日本の精神医療の歴史—— …………… 小林ひとみ 202
- 41 日本の近代外科黎明期における胃癌手術…………… 佐藤 裕 203
- 42 県立福岡病院外科部における3年間(明治23年~25年)の
手術について …………… 小林 晶 204
- 43 “養育院”成立における第5代東京府知事・大久保一翁の役割
…………… 稲松 孝思 205
- 44 近代日本の「防疫の制度化」においてコレラ流行は
「決定実験」となりえたか? …………… 大山 卓昭 206
- 45 中島友玄の閑谷并医学館入学諸事留
——明治初年の医家継承事情—— …………… 中島 洋一 207
- 46 浅田宗伯門人, 藤田謙造の学統…………… 渡部 浩二, 小曾戸 洋, 花輪 壽彦 208
- 47 「医業」とは別のいとなみで
——橋田邦彦の「医行」論—— …………… 勝井 恵子 209
- 48 ハンセン病医学者・菅井竹吉の履歴,
特に東京市養育院時代の事績について …………… 平井雄一郎 210
- 49 中国伝統医学と道教(第30回「医道」と「医家」) …………… 吉本 昭治 211
- 50 茶と『神農本草経』について…………… 岩間眞知子 212
- 51 五味説新考…………… 猪飼 祥夫 213
- 52 傷寒論における「堅」と「鞭」と「鞣」
…………… 松岡 尚則, 栗林 秀樹, 別府 正志, 山口 秀俊,
中田 英之, 岩井 祐泉 牧角 和宏 214
- 53 毒——中日の医家で解釈が異なる病因術語…………… 朱 建 平 215

54	龔廷賢方の清代医学文献における引用 ——日中医学の相違—— …………… 星野 卓之, 天野 陽介, 小曾戸 洋, 花輪 壽彦	216
55	耳聾について…………… 吉岡 広記	217
56	肝臓にたいする認識の変遷 ——江戸から明治期にかけて—— …………… 大道寺慶子	218
57	綴合する4組の敦煌医薬卷子断簡について…………… 沈 澍 農	219
58	「千金方」の名称をめぐって …………… 矢数 芳英, 小曾戸 洋	220
59	『難経集注』について …………… 宮川 浩也, 天野 陽介, 小曾戸 洋, 花輪 壽彦	221
60	柳宗元疾病攷…………… 小高 修司	222
61	損至について…………… 中川 俊之	223
62	『女科證治準繩』における鍼灸条文の典拠について …………… 田中利江子	224
63	『外科理例』の鍼灸 …………… 上田 善信	225
64	『素問』『靈枢』における三焦概念の変遷…………… 林 孝信	226
65	『僧深方』——『医心方』『外台秘要方』からの輯佚 …………… 多田 伊織	227
66	『医心方』に記載されている九虫に関する考究 …………… 牧 純	228
67	『殿曆』の鍼灸 …………… 寺川 華奈	229
68	『文正草子』の中の身体に関わる表現 …………… 計良 吉則	230
69	『鍼灸要法』について …………… 宮川 隆弘	231
70	『一原三岐』について …………… 鶴田 泰平	232
71	『鍼灸施治姓名録』について ——幕末の岡山県邑久郡周辺における鍼灸記録—— …………… 松村 紀明, 中島 洋一	233
72	京都府立盲学校資料室所蔵の『杉山真伝流』関連 写本類について …………… 大浦 宏勝, 市川 友理	234
73	『家伝預薬集』の研究 …………… 鈴木 達彦, 砥上 京子, 森田 まゆ	235
74	青山道醇の『鍼灸備要』について…………… 木場由衣登	236
75	木内政章(原南陽・小野蘭山門人)の事蹟と学績…………… 町 泉寿郎	237
76	田中彌性園収蔵小野蘭山書簡およびその学統について…………… 田中 祐尾	238
77	『体雅』諸本10種の関係について…………… 浦山 きか	239
78	国立国会図書館所蔵『体雅』について…………… 竹内 尚	240
79	東博所蔵の江戸医学館旧蔵書に関する検討 …………… 天野 陽介, 小曾戸 洋, 町 泉寿郎, 星野 卓之	241
80	江戸医学館蔵書集散の顛末 …………… 小曾戸 洋, 天野 陽介, 町 泉寿郎, 星野 卓之	242
81	解剖学の脱動物化 ——ガレノス解剖学の伝承と解剖学の変化—— …………… 澤井 直	243

82	クイーン・スクエア・ホスピタルの創設と発展……………	柳澤 波香	244
83	『百科全書医学篇』(明治7年文部省刊)と Chambersの原本(1857年)について……………	樋口 輝雄	245
84	眼科顕微鏡開発史 ——カールツァイス社の開発経過について——……………	園田 真也	246
85	緒方洪庵と種痘——その人脈を探る——……………	古西 義麿	247
86	郡上藩醫學校と種痘・施療事業……………	森永 正文	248
87	ポンペ・ファン・メールデルフォールトの日本における 西洋医学教育についての報告 ……………	相川 忠臣, ハルメン・ボイケルス, 酒井 シヅ, 山之内卯一	249
88	ポンペ・ファン・メールデルフォールトと牛痘種痘(第1報) ……………	松木 明知	250
89	司馬凌海——日本人執刀最初の病理解剖……………	高橋 昭	251
90	森 林太郎(森 鷗外)と解剖学講義について……………	島田 和幸	252
91	本木良意識『阿蘭陀経路筋脈臟腑図解』をめぐる考察 ……………	成瀬 勝俊, 片山 昇, 片山誠二郎	253
92	金澤大学所蔵キンストレーキの解組と 新たに確認されたオランダ語・日本語ラベル……………	月澤美代子	254
93	医術開業後期試験問題と済生学舎の臨床技能教育 ……………	志村 俊郎, 唐澤 信安, 殿崎 正明, 寺本 明	255
94	磯部檢三と加藤時次郎について ……………	唐澤 信安, 志村 俊郎, 殿崎 正明	256
95	塩田広重学長と「磯部檢三日記」 ……………	殿崎 正明, 唐澤 信安, 志村 俊郎	257
96	医学校数推移の基礎資料としての文部省年報の統計について ……………	坂井 建雄	258
誌上発表			
97	宋代の漢籍に見える『内経』経文……………	橋本 典子	259
98	『鍼法秘粹』について……………	岩田源太郎	260
99	饗庭東庵『首書十四経』の鼈頭について……………	山崎 陽子	261
100	近年の北海道に於ける明治女医史研究と新知見……………	宮下 舜一	262
The 111th General Meeting of the Japan Society of Medical History……………			263